

全国津々浦々

ナビゲーターが行く!

今号のナビゲーター(案内人)の正保が information bridgeをご利用頂いたお客様のもとへお伺いし、対談するコーナーです。

高知県

高知県中央東土木事務所様

技術次長
浜田一範様

Navigator
営業担当
正保貴裕

中央東土木事務所様は、道路や河川などの社会資本の整備、占用許可、境界の確認などに関する事務や用地買収、補償に関する事務等を行なっています。

発注者としても もっと浸透させて体制をつくっていくべき。

高知県では情報共有システムの利用が 急激に増えているそうですね?

正保 試行運用3年を経て、いよいよ本格運用になりましたが、順調に普及・利用増加していますね。業者さんも意識の高い方が非常に多いと感じます。

浜田様 技術管理課の努力もあり県全体としても、しっかり取りまとめを行っているからだと思いますね。あとは書類の簡素化の徹底かな。

正保 当初の目的は「書類の簡素化」だったそうですね。目的は果たせました?

浜田様 そうだね。時間的なロスが目に見えて減りました。以前は複数工事を監督管理するのも大変で、一日の仕事が現場監督で終わることもありましたが、アイサスさんのシステムなら大容量データも簡単に送れるし、業者さんにも事務所まで来てもらわなくていいし、効率的に時間を使ってもらうことができますよね。そのおかげで当初の目的は果たせました。

正保 浜田次長は決裁件数も多いですよね?

浜田様 実は、朝出勤して決裁書類が溜まっていると嫌なんだよね。(笑)それがなくなるのはいいことだと思います。まだ紙資料を使用する場合がありますが、慣れで解決していきたいですね。

正保 ちなみに、事務所内で何か変化とかありました?

浜田様 大きな変化はないけど、部下と部屋が別なので添付資料を見るときなんかは、わざわざ僕の部屋に来なくても内線電話だけでスピーディーにやりとりができるので、相手

の時間をとらなくてもよくなりました。もっと必要な業務に優先的に時間を使えますね。

高知県での利用をさらに普及させるためには?

浜田様 年に1度、技術管理課が技術職員に対し説明会を開催しています。そこで、情報共有システムの取組み姿勢を見せたら若い職員もやる気を出してくれるのではないかと思います。業者さんが困らないように、発注者としてももっと浸透させて体制をつくっていくべきだと思いますよ。

正保 浜田さんのお話から、業者さんへの気遣いが強く伝わってきます。お互いの立場でメリットを感じていただき、さらに普及してほしいですね。私たちはどんどん使いやすくなるためのサポートが欠かせないですし、全国的な動きや高知県の動きをまず伝える、それが使命だと感じています。講習会を通してもっと伝えていきたいと思っています。

高知県での課題はありますか?

浜田様 今の課題は、若手職員の人員不足・人材育成です。県の職員がしっかり対応しないとイケないですね。そうでなければ、定着できずに辞めてしまいますからね。そして、もっと土木の「やりがい」を伝えていきたいです。最近だと女性の活躍もあって土木のイメージが変わっていると思うし、情報共有システムの利用を通して生産性を高め、土木がもっている本来の面白味に時間を使ってもらいたいですね。僕が、解決できることではないのかもしれないですけどね。(笑)その点も含めて、アイサスさんに期待しているよ!講習会の開催や営業活動もこまめにおねがいしますね。

正保 はい、ご期待に添えるように頑張ります!



Information bridge
高知県 発注者指定
対象工事の
利用シェア No.1
累計使用件数 140件
(2019年10月時点)
※当社調べ

